

5 国 語

松蔭大学附属 松蔭高等学校

令和五年度 松蔭大学附属 松蔭高等学校 入学試験問題

国 語

○ 注 意

- 1 問題は①から④までで12ページにわたって印刷してあります。
- 2 指示があるまで中を見てはいけません。
- 3 検査時間は五〇分です。
- 4 解答はすべて解答用紙に明確に記入し、解答用紙と問題用紙は別々に提出しなさい。
- 5 解答を直すときは、きれいに消してから新しい解答を書きなさい。
- 6 検査番号(算用数字)、氏名を、解答用紙の決められた欄に記入しなさい。

① 次の本文を読み、あとの問いに答えなさい。

叔父が死んだ。

ほたるいかに触った。

その二つは、同時に起きたことではないが、近い時期の出来事だった。なぜなら、叔父はほたるいかの町のそばに、住んでいたからだ。ほたるいかがその町の沖へ現われるのは、毎年、三月から五月あたりに限られている。浜へ打ち上げられることもあって、地元ではその現象を「ほたるいかの身投げ」と呼ぶ。

ほたるいかに触ったのは、浜辺ではなく、海の上でもなくて、展示場のなかでだった。^a ムタン^aでふれたのではない。ふれても構わないコーナーが設けられていて、それならば、と水に手を入れた。

金魚をゆるく握る感触に似ている。ほたるいかは、五センチから七センチくらいの大きさ。手のなかで、どく、どく、どく。脈打つ。どきりとして、^b 緩める。墨を吐く。ひゅるりと逃げる。別の個体を、手のなかに閉じこめる。走った後の鼓動のような、速い脈が伝わる。ほたるいかが、とてつもない危機を感じていることがわかる。① ひどいことをしていると、わかる。ふれて構わないコーナーに囚われた個体はみんな、こんなふうには繰り返して触られて、触られて、やがて疲れて、死んでしまうのだろう。

顔を上げ、注意書きに気づいて、はっとする。② 「。そう書いてあった。すると、食べた人が過去にいたことだろうか。いたのかもしれない。いきのいいほたるいか。□ のものを、浜で拾って持ち帰り、刺身として食すことも可能なのだから。ここで、食べてみようと思いつく人がいるとしても、おかしくはない。とはいえ、醤油もなにもつけずに、食べる気になるだろうか。いかたちは、透き通る水のなかで、からだを横にして泳ぐ。

あまり動かない個体もいて、指先で波を起してみると、すでに死んでいる。もしかすると、動かないも

のを見て、食べてみようと思う人もいるかもしれない。動くのを捕まえて食べるのは気が引けても、動かなくなっているのなら、浜の□と変わりはしない。そんなふうに見える人が、いないとはいえない。

いかの仲間は、眼がいいという。レンズなどが、精巧に出来ていて、よく見えるらしい。十センチに満たないほたるいかたちの眼は、いきいきと黒い。見られているな、と、カクシンさせる眼だ。まばたきはしない。こんなものを、捕まえて食べるのだ。闇のなかで脅かされれば青い光を流す、このようなものたちを。

ふれて構わないコーナーのほたるいかたちは、囚われの身であることを、ハアクしているのだろうか。知らない生きものの手に追われたり、握られたり、逃げたりしながら、もうどこへも行かれない。

「②」。言葉は告げる。眺めていてもとくに食欲は湧かない。食べたりはしない。冷たい水に両手を浸したまま、④心だけ後退する。詩に似た影が足元に溜る。

昼間の展示場を訪れる人はいない。しばらく、三角形にもじゃもじゃと脚を生やしたほたるいかを見ていた。おもてへ出ると、海はもう目の前。空は曇り、波は静かだった。船も見えず、鳥もない。この水の下に、ほたるいかの群れが。あらゆるものが、黙って、消えていく。

(蜂飼耳「ほたるいかに触る」)

問1 〓線 a s e のカタカナは正しい漢字で、漢字は読みをひらがなで書きなさい。

問2 〓線①「ひどいこと」とはどのようなことか、具体的に説明しなさい。

問3 「②」に入る注意書きはどのようなものか、書きなさい。

問4 □に入る語を本文中から三字で抜き出しなさい。

問5 〓線③「知らない生きもの」とは何か。

問6 〓線④「心だけ後退する」心情としてふさわしくないものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 罪悪感 イ 哀れみ ウ 好奇心 エ せつなさ

問7 この作品の表現についての説明として、あてはまらないものを選び、記号で答えなさい。

ア 体言止めや省略を多用することで、読者に余韻、余情を残している。

イ 短い文を続けたり、読点を多用したりすることで、主人公の心の動きが細やかに伝わってくる。

ウ 平仮名で「ほたるいか」と表記することで、柔らかい手ざわりを感じさせる。

エ 「どく、どく、どく」や「ひゅるり」という擬態語を用いることで、ほたるいかの触感が伝わってくる。

オ 次々と起きる衝撃的な出来事を淡々と描写することで、主人公の冷徹さが強調されている。

2 次の本文を読み、あとの問いに答えなさい。

人間がコンピューターに勝つためにはどうしたらよいか。

その方法は「考える」こと。コンピューターは「記憶する」ことにかけては^a テキナしたが、「考える」ことを知らない。よく、プロの棋士と碁を打ってコンピューターが勝つたなんていうニュースを耳にする。コンピューターが考えているわけじゃない。^A 「知識」として大量のデータを記憶しているのである。

本当の意味で「考える」ということは、日本人だけでなく、現代を生きる人間にとっても極めて難しい。なぜなら、われわれは「1」をもっているからだ。

知識がある程度まで増えると、自分の頭で考えるまでもなくなる。知識を利用して、問題を処理できるようになる。借り物の知識でなんとか問題を解決してしまう。

もちろん知識は必要である。何も知らなければただの^B 無為で終わってしまう。ただ、知識は多ければ多いほどいいと喜ぶのがいけない。良い知識を^b テキリヨウ、しっかりと頭の中に入れて、それを基にしなから自分の頭でひとが考えないことを考える力を身につける。

ところが、である。ふりまわされないためには、よけいな知識はほどよく忘れなければならない。しかし、^① この「忘れる」ことが意外に難しい。

学校の生徒で、勉強において「忘れてもいい」と言われたことはあるだろうか？ もちろん、今の学校教育ではそんなことは言わない。ともすれば「忘れてはいけない」と教え込む。すくなくとも、「どうしたらうまく忘れるか」などという学校はないはずだ。

しかし実は、「覚える」と同じく「忘れる」ことが大事で、しかも難しい。この「忘れる」ことによって、人間がコンピューターに勝っているのである。コンピューターは「覚える」のが得意な反面、「忘

れる」のはたいへん苦手。人間のように、うまく忘れるということができない。

そもそも未知なものに対しては、借り物の知識などでは役に立たないのが当たり前だ。それまでの知識から外れた、わけのわからないモノゴトを処理、解決するには、ありきたりの知識では役に立たない。いったん捨てて、新しい考えをしばらく出す力が必要となる。^② そういう思考力を身につけられれば、コンピューターがどんなに発達しようと、人間が存在価値を見失うことはないだろう。

人間はずっと「忘れる」ということをおそれてきた。とにかく「忘れてはいけない」と思い込んでいる。急に「忘れよ」などと言われたらひどくとまどう。たいていの人は、覚え方は上手でも忘れ方は下手である。

なにもそれほど難しく考える必要はない。自然に忘れる。一番「カンタンなのは「夜よく眠る」ことである。

前の晩に、頭に知識を100入れて寝たとする。朝になって、その知識がそのまま残っていてほしいと願う人があるかもしれないけれど、そんなことがあつては大変。頭が壊れてしまう。正常な頭なら、前夜の知識はガタ減りに少なくなっている。なぜか？ 睡眠中に^d 忘却をすすめる働きがはたらくからである。この忘却の時間はレム睡眠と呼ばれる。人によって回数に違いがあるが、ひと晩に数回おこる。

起きている間の人間の頭の中へは、いわゆる知識以外にも、雑多な刺激が常に入り込んでくる。そのようにして流れ込んできたもので不要だと思われるものを、レム睡眠の時にはねのけているのだ。

人間の頭は、自分にとって「どうも大事なもののらしいぞ」というものは自動的に忘れないようにできている。当人は頭の中になんかいいと思つたモノを、レム睡眠は整理する。朝、目を覚ました時、たいていの人になんとなく、清々しい気分になっている。レム睡眠のおかげで頭の中の掃除が行われた後だから、頭の中のゴミ出しが済んだ後だからである。

この自然忘却作用は本当に大事にしなければならぬ。夜よく眠れない人は、大至急、眠れるようにしな

いと頭が悪くなってしまう。昼、詰め込むよりも、夜、不要なものをすてる方が大事である。C 心身の健康のためにも忘却作用を大切にしたい。

けれど、勉強しすぎて知識をたくさんとり入れると、一日一回の睡眠だけでは足りない。ゴミがいつぱい溜まる。③ レム睡眠でゴミ出しをしてもなお、有害なゴミが頭の中に残る恐れがある。そんな場合、どうしても目が覚めている間に、よけいなことを忘れる努力をしなくてはならなくなる。有害なものは、なんとしても忘れないといけない。

そうかと言つて、一日じゅう寝ているわけにはいかない。では、起きている間はこうしたらいいか、これはなかなか工夫が必要である。

その点、学校はうまいことをしてきた。それは、異なる授業を立て続けにやるということ。英語の次に国語、その次は社会、音楽。一見、支離滅裂のようだけれど、実はこれは非常に理にかなっていたのだ。なぜなら、前の授業で詰め込まれた知識を、まったく異なる次の授業によつて、レム睡眠と同じほどではないが、忘れることができるからだ。

ところが三〇年ほど前、こういう時間割に批判的な教師があらわれた。違った教科をつづけて教えるは記憶効率が下がると考え、同じ内容を一括して教えれば学習能率が上がるとした。そして、「午前中はすべて英語」「午後はすべて理科」というように、休みもなくぶつ続けに授業を行うことにした。

結果はどうなったか？ 思いもかけず 2 ㄱ のである。それは忘れることの必要を忘れた、からだ。異なる授業をやることだけでなく、授業と授業の間の休み時間もたいへん大事だったのだ。

(外山滋比古「何のために学ぶのか」)

問1 ㄴ 線 a ㄱ e のカタカナは正しい漢字で、漢字は読みをひらがなで書きなさい。

問2 ㄱ 1 ㄴ に入る二字熟語を本文から抜き出しなさい。

問3 A 知識・B 無為・C 心身とあるが、これらの熟語の成り立ちの説明として最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 同じような意味の漢字を重ねたもの
- イ 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの
- ウ 上の字が下の字を修飾しているもの
- エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの
- オ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの

問4 ㄴ 線 ㉠ 「この『忘れる』ことが意外に難しい」とあるが、その理由を二十字以内で説明しなさい。

問5 ㄴ 線 ㉡ 「そういう思考力」とはどのような力か、三十五字以上五十字以内で説明しなさい。

問6 — 線③「レム睡眠」の果たす役割を述べている六字を本文中から書き抜きなさい。

問7 (へ) 2 (へ)に入る言葉を、「学力」という語を用いて十字程度で書きなさい。

3 次の本文を読み、あとの問いに答えなさい。

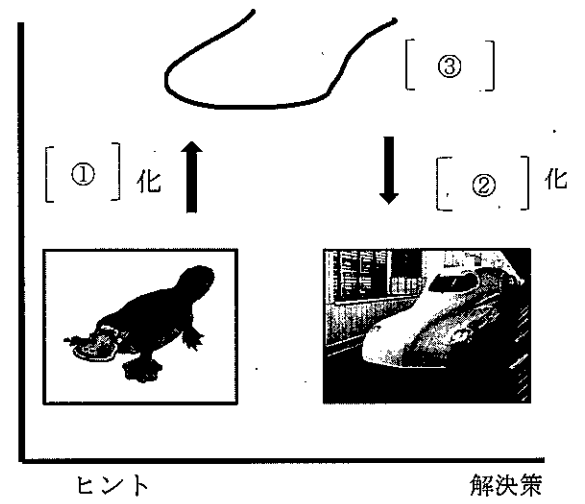
新幹線の700系の先頭車両の形はカモノハシのくちばしに似ています。新幹線がトンネルに入る時のドーンという衝撃を抑えるために生まれたものです。諸説ありますが、この形は水に飛び込む際に大きな波を立てないカモノハシのくちばしがヒントになったと言われています。

つまり動物界の優れた事例を具体的に人工物に応用したのです。

この成功事例は、カモノハシのくちばしと700系の先頭車両の間に、「構造的な類似性」が存在していることを意味しています。実は、このような類似性に基づくアプローチは、問題解決に向けた多くのヒントを与えてくれます。

抽象化を行うことで、現在の問題の輪郭を浮かび上がらせ、答えの空間を広げ、アナロジーを通じて目の前の問題の解決に役立てることが可能になります。

※ アナロジー：論理学で、物事の間の特定の点での類似性から、他の点での類似性を推論すること。類推。類比。



問1 本文を読んで、右の図の〔①〕と〔②〕に「具体」または「抽象」のどちらかを入れなさい。

問2 図中の曲線に当たる語〔③〕を本文中から七字で抜き出しなさい。

問3 本文中の——線部の説明として正しくないものを次の中から選びなさい。

- | | | |
|-----------|---|------------|
| ア ゴボウの実 | ↓ | マジックテープ |
| イ ハチドリ飛び方 | ↓ | ドローンのホバリング |
| ウ 蓮の葉の表面 | ↓ | ヨーグルトの蓋 |
| エ ヒヨウの柄 | ↓ | 洋服の模様 |
| オ カタツムリの殻 | ↓ | 防汚外壁 |

4

次の() ()に後の語群の中のどれかを入れて、下の意味をあらわすことわざ・慣用句を完成させなさい。

- 1 () ()の涙—— わずかしくないこと
- 2 () ()をかぶる—— 本性を隠して上品ぶること
- 3 () ()が合う—— 気が合うこと
- 4 () ()に真珠—— 価値が分からず無意味なこと
- 5 () ()も木から落ちる—— 達人でも時には失敗すること

語群	豚	牛	馬	猫	犬	狐	猿	うさぎ	ねずみ	蛇	雀	うぐいす
----	---	---	---	---	---	---	---	-----	-----	---	---	------

